

平成 20 年 6 月 23 日

社団法人日本技術士会 原子力・放射線部会 第 4 回総会
議事録

1. 開催日時：平成 20 年 6 月 20 日（金）14:00～15:30
2. 開催場所：日本技術士会 第 2 荳手ビル 5 階 A・B 会議室
3. 出席者：
[日本技術士会] 竹下専務理事（挨拶）
[部会員] 林(部会長)、鳥飼、市川、栗原、伊藤(晴)、青木、浜崎、若林、白川、
林(克巳)、永嶋、高橋、井上、上野、堀川、及川、田中(健)、長澤、嶋田、
中野(智)、網野、阿部(定)
4. 配付資料
－(社)日本技術士会 原子力・放射線部会 第 4 回 総会 次第
－資料－1：原子力・放射線部会 平成 19 年度事業報告
－資料－2：原子力・放射線部会 平成 20 年度事業計画
－資料－3：原子力・放射線部会 平成 19 年度収支決算書
－資料－4：原子力・放射線部会 平成 20 年度収支予算書
－資料－5：原子力・放射線部会規程に所在地の条文を追加する件
－平成 20 年度役員紹介
－平成 19 年度事業報告および平成 20 年度事業計画（パワーポイントのハンドアウト）
5. 議事内容
(1) 来賓祝辞及び部会長挨拶
青木幹事を進行役として、総会の開会が宣言され、冒頭、来賓としてご出席いただいた(社)日本技術士会の竹下専務理事から、原子力・放射線部会のこれまで約 4 年間の活動が技術士会活動に大きく貢献していることの謝辞を含め、ご自身の技術士会専務理事及び原子力分野での、これまでの体験に基づくお話をいただいた（竹下専務理事は、今月の日本技術士会総会をもってご退任されることになっている）。
次に、林部会長から平成 19 年度の原子力・放射線部会の活動の概況報告も兼ねて、挨拶がなされた。

(2) 総会出席者数・委任状数の確認
青木幹事から、本総会の出席者数及び事前に受領している会員からの総会委任状の数について、以下のように報告された。

現会員数： 計 168 名 (内会員；125名、準会員；43名)
総会出欠返信数： 計 93 名 (内会員；81名、準会員；12名)
総会出席者数： 計 22名 (内会員；21名、準会員；1名)
委任状提出数： 計 71名 (内会員；60名、準会員；11名)

以上から、総会成立のための条件である会員数の過半数の出席ないしは委任が得られたため、本総会は成立する旨、青木幹事から報告された。

(3) 平成 19 年度事業報告及び平成 20 年度事業計画

伊藤幹事から、平成 19 年度の事業報告及び平成 20 年度の事業計画について、スライドおよび配付資料－1～2に基づき、報告が行われた。

a. 平成 19 年度事業報告 (資料－1)

伊藤幹事から、平成 19 年度事業の主要な活動の概要について報告が行われた。以下に報告の概要を示す。報告後、昨年度活動内容が満場一致で承認された。

① 制度活用具体化の検討

- i) 平成 19 年 5 月に技術士制度活用に係る緊急提案を作成し、これを用いた活用提案を部会 HP はもとより、各電力会社の副社長クラスへの送付や、原子力安全・保安院長への説明等を行った。
- ii) 原子力学会 2008 年春の年会で、学会との共催企画セッション「原子力・放射線制度の具体的活用に向けて」を開催した。
- iii) 制度活用に向けての中長期ロードマップを作成中

② 必要な技術士数の確保

- i) 新聞・雑誌等一般のマスコミを活用した PR を推進中
- ii) 技術士制度と試験制度の普及を図るため、受験者数拡大キャラバンを実施 (平成 19 年度は、東北電力と日本原燃で実施)
- iii) 部会主催で新技術士講習会 (一次合格者、二次合格者対象) を開催 (4 月 4 日)

③ 継続研鑽 (CPD)

- i) 制度活用策と対応して、継続研鑽メニューを検討
- ii) 部会主催の講演会「技術士の夕べ」を継続的に開催
- iii) 他の部会と共催の講演会を開催
- iv) 施設見学会を実施 (平成 19 年度は、東京電力柏崎刈羽原子力発電所－5 月 11 日、及び JAEA の J-PARC と日立オートモティブシステム社工場－11 月 9 日－の見学会を実施)

④ 広報活動

- i) 対外広報として、雑誌、学会誌、業界紙等で技術士制度と部会活動を紹介
- ii) 部会報の発行
- iii) 部会ホームページや原子力学会ホームページへの部会活動の掲載・意見発信
- iv) メーリングリストを活用した役員・会員内の意見交換

⑤ その他の活動

- i) 日本技術士会活動への参画：理事会、部会長会議、政策委員会、倫理委員会
- ii) その他、部会内部で様々なプロジェクトを立ち上げて、その活動を展開ないしは準備中

b. 平成 20 年度事業計画（資料－ 2）

伊藤幹事から、引き続き平成 20 年度の事業計画案についての報告があった。本年度の活動は、基本的には平成 19 年度の活動内容を引き継ぎつつ、更に具体化すべきはして、意欲的な活動提案を盛り込んで実施していく旨の表明もなされた。

最後に、部会員に対して、技術士受験や技術士会会員（合格者向け）への勧誘や、CPD 認定会員及び APEC エンジニア登録申請を積極的に行うよう要請をして報告が締め括られた。

報告後に本事業計画案は満場一致で可決された。

(4) 平成 19 年度決算報告及び平成 20 年度予算計画（資料 3 & 4）

阿部幹事から、平成 19 年度決算及び平成 20 年度の予算計画案についての報告が配付資料 3 および 4 に基づき行われた。

報告後、昨年度決算と本年度予算案について満場一致で可決された。

(5) 部会規程の改定について

本部会の会計業務との関連で、部会規程の第 1 条の 1 に、部会の所在地を追加する改定案が会計の阿部幹事から、資料－に基づいて提案された（所在地は、社団法人日本技術士会の所在地に同じ）。その結果、本件についても満場一致で可決され、部会の規程が改定されることが決まった。

(6) 新任幹事の紹介

平成 20 年度から以下の 4 名の新幹事が誕生することになり、林部会長から紹介が行われた。

市川幹事、白川幹事、田中(健)幹事、中野(智)幹事

以上

この議事録は、議事内容に相違ないことを確認しました。

平成 20 年 6 月 26 日

議事録署名人

渡崎 淳

印

